

平成30年度 愛媛県高等学校教育研究会情報部会 講演 別紙資料  
「100年進化しなかった黒板を変える～創業99年の黒板屋が取り組むイノベーション～」

株式会社サカワ 坂和 寿忠 氏

今回の講演で紹介された、ワイドのソフトウェアのダウンロード、インストールガイド、そしてワイドのよくある質問（16：6の設定方法など）などのリンクをまとめております。各学校の先生方でご活用いただければ幸いです。

<ワイドソフトウェア ダウンロード>

[http://www.sakawa.net/wiide/files/wiide\\_software\\_v1.exe](http://www.sakawa.net/wiide/files/wiide_software_v1.exe)



<ワイドソフトウェア インストール方法と使い方>

[http://www.sakawa.net/wiide/pdf/SPUW360iR\\_installguide.pdf](http://www.sakawa.net/wiide/pdf/SPUW360iR_installguide.pdf) (P.26～40)



<ワイド よくある質問>

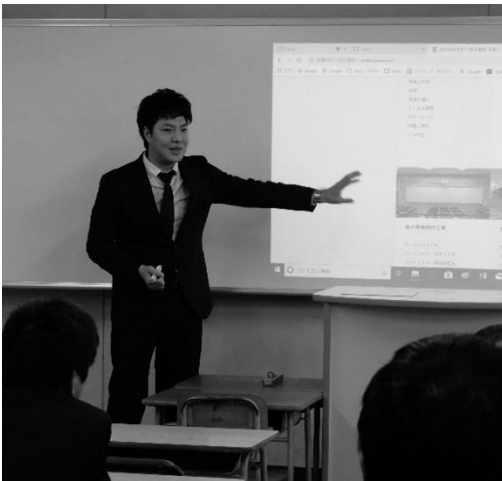
<http://www.sakawa.net/wiide/faq>



平成30年度 愛媛県高等学校教育研究会情報部会 講演

「100年進化しなかった黒板を変える～創業99年の黒板屋が取り組むイノベーション～」

株式会社サカワ 坂和 寿忠 氏



黒板の歴史について

「5行で語れる、100年の歴史」

1913年	大正初期、それまで仏壇屋さんや、漆工芸屋さんなどが作っていた黒板も、日本の代表的な黒板専業メーカーが出現し、技術の高さから朝鮮や満州など海外にも多く知られました。
1939年 1945年	戦争により、黒板塗料の命ともいうべき漆が入手困難となり、黒板メーカーが材料調達に苦労した時期でした。
1952年	昭和27年、資材の調達も含めて、日本工業規格表示工場の許可をめぐって黒板工業連盟を結成する運びとなり、昭和29年、JIS規格が制定されました。
1955年	昭和30年頃から木造から鉄筋の学校が多く作られ黒板が全国的な規模で拡がりました。
現在	現在の黒板は以前より簡素化し、以前は手作業で製造されていた研ぎ出し黒板から板面は焼付け塗装・ホーローが主流になってきています。フレームが木枠からアルミの枠に変化し、より使い易く、耐久性に優れた黒板になりました。